

審 議 経 過 No. 1

平成28年度 伊万里市農林漁業振興、共同化資金及び天災による被害農林漁業者等に対する資金融資審議会

日 時:平成29年2月7日(火) 午後14時00分～午後14時30分

場 所:伊万里市役所 3階 第3会議室

出席者:水田 重彦(伊万里市農業協同組合 代表理事常務)

前田 正明(伊万里西松浦森林組合 副組合長)

塚本 治平(佐賀玄海漁業協同組合 波多津支所運営委員長)

米岡 省子(伊万里市農業委員会 委員)

大坪 裕文(佐賀県信用農業協同組合連合会 融資部長)

力武 健一(伊万里市役所 産業部長)

事務局:松岡課長、井上副課長、杵嶋(伊万里市役所 農業振興課)

1. 開会(事務局)

2. 辞令交付(伊万里市副市長 江頭 興宣)

3. あいさつ(伊万里市副市長 江頭 興宣)

4. 融資制度の概要について(以降の進行 水田会長)

(事務局から概要説明)

5. 審議

(1)平成28年度伊万里市農林漁業振興、共同化資金利子補給の承認について

(事務局から承認事項説明の後、全員一致で承認された)

(2)平成29年度伊万里市農林漁業振興、共同化資金利子補給融資限度額について

(事務局から説明後、全員一致で承認された)

6. その他(水田会長)

伊万里市農協の牛の在庫頭数は、農協合併当時の10年前に比べ約3分の2の6,000～7,000頭に減少している。農家数も以前の3分の2にまで減少している。

1、2年前は枝肉価格が安く、飼料価格が高かったため、畜産農家を辞めざるを得なかった。

今は、素牛が少なく、また中国富裕層の旅行者が増え、高い牛肉の消費量が増えたため、枝肉価格も120～130万円まで上がったが、ここにきて高止まりしている。素牛の価格は現在平均80万円台と、以前の販売価格にまで上昇している。いかに素牛を増産するかが課題である。

審 議 経 過 No. 2

素牛価格が下がれば、枝肉価格も下がってしまうが、素牛価格が下がらなければ畜産経営は厳しい。

今後、伊万里牛として良い牛を生産するため、市の利子補給やJAバンク利子補給のような制度を活用しながら頑張っていきたい。

7. 閉会(水田会長)

※質疑なし

※質疑応答 なし